

1. 専門部会の目標

- 防災・減災プログラムの骨格を整理する。
- 防災教育の目的、対象等を整理し、震災遺構及び震災記念公園の防災教育への活用についてマトリクス整理表(縦軸横軸を使った情報整理表)を完成させる。
- 記憶のプロムナード(復興まちづくりセンターにじいる、震災記念公園、役場4階展示、展望所)の防災教育への活用を図る。
- 平成28年熊本地震以降の記憶の継承活動を整理する。

2. 目標達成に向けて実施した取組

【令和4年度】

- 学校に対する取組み
 - 防災教育主任会議
 - 防災講話(広安小、益城中央小、飯野小保護者)
 - 防災倉庫、マンホールトイレ説明会(広安小)
 - 平田震災遺構見学・研修(広安西小、益城中央小教員)
- 住民に対する取り組み
 - 自主防災組織の設立支援(広崎5町内)
 - 防災講話(安永4町内、広崎4町内)
 - 防災倉庫の説明(福富、広崎3町内、広崎4町内、広崎5町内)
- 災害教訓の発信
 - 視察受け入れ(29件)
 - 先進建設・防災・減災技術フェア出展

3. 今後の取組予定

- 学校園に対して
 - 防災教育年間指導計画に基づく継続的な防災教育の実施
 - 防災教育主任会議の継続的な開催
 - 各小中学校での防災講話の開催
 - 小学校区単位での自主防災組織設立に向けた説明会の開催等設立支援の継続
 - STORIES を基に学校園毎のパネルを作成し、配布する。掲示することで、熊本地震の状況を継承する機会を設ける。
- 住民に対して
 - 自主防災組織の継続的な設立支援及び研修会や訓練等活動の支援
 - 防災士資格の取得支援
 - ハザードマップを改訂し、デジタル化を図る。
 - ハザードマップの家庭や地域での活用を促進し、災害に対する備えの習熟を図る。
 - 益城町総合防災訓練の実施
- 災害教訓の発信
 - 集客イベントにおける防災意識向上啓発活動の実施
 - 令和5年7月3日梅雨前線に伴う大雨被害について整理し、発信する。